アジアンアクセス・ジャパン レポート 2020.12 月号

Asian Access Japan REPORT



世界と日本の福音化のために、指導者を力づけ整えて、健全な教会の成長および増殖を促し、 全国規模の教会増殖運動が起こされることを目指すこと Mission

ごあいさつ

アジアンアクセス・ジャパン(A2J) 理事長 小平牧生

私は、50代を迎えるにあたって参加したリトリートで、自分のタイムラインを眺めながら祈り思い巡ら している時に次のみ言葉が心に与えられました。

「キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。」(エペソ 4:16)

それ以降 50 代は「結び目」として仕えることを自分の目標として歩んで来ました。A2J の交わりの中に加えていただきながら、また JEA や JCE6の働きを通して、あるいはこの間に多発した様々な災害の被災地支援の働きを通して、この目標のために仕える機会が与えられました。そして 10 年が過ぎ現在 62 才ですが、ギアをもう一段階あげてこの目標に取り組むように導かれています。

本来であれば、今年はA2Jの現地法人化にともなう新たな歩みをスタートする年でしたが、主は私たちがいったん立ち止まることを求められました。このコロナウィルス禍は、私たちが日常から退いて神を知り、私たちのあり方をふくめて働きの本質を考えるために、神から与えられた意味のある時だと思います。この時は、A2Jにとって、そして私たち一人一人の人生と働きにおいて大切な節目となることは間違いありません。

掲げられた「指導者を力づけ整えて、健全な教会の成長および増殖を促す」という使命を達成するために、①一致と宣教を促進する結び目であること、特に地域に立てられているリーダーを軸とした各地での宣教ネットワークを側面からサポートすること、②世代的なネットワークを建て上げること、特に若い世代のリーダーとそのつながりを支援市、必要な研修やバルナバ関係を提供すること、そして③アジアとのつながりを強化していくことによって、日本の教会がアジアさらに世界宣教の最前線に導いていくこと、以上のことを目指していきたいと願っています。

ともに良いチームとして仕えていきたいと願っています。よろしくお願いいたします。

アジアンアクセス・ジャパンナショナルディレクター 播義也

ハレルヤ。主のみ名を心から賛美します。

アジアンアクセス・ジャパンの働きは、今日までライフミニストリーズ、日本教会成長研修所、JCGIネットワークと変化しながらも、日本の福音化のために用いられてきました。特に1990年代後半に、ダグラスバーザル氏(前ローザンヌ世界宣教会議議長)がアジアンアクセスの総裁に就任してから、主はバーザル氏に「2020ビジョン」をお示しくださいました。具体目標として「100の教会開拓ネットワークと1000の再生産可能な教会を生み出す」という物でした。それから、以下のように、我々の在り方を変えていく決意をしました。理念/方針

- ・ 働きの目的を2つに絞り、組織をシンプルにする。
 - ▶ 2つは教会の成長と教会の開拓である。 そのために、牧師の育成プログラムと教会 増殖ネットワークに絞られる。
- ・ 地域よりもビジョンにより奉仕地を決定
 - ▶ 宣教師の働きは首都圏に限られて行われていたが、ビジョンをもった教会との協力のために、首都圏を離れることにする。 (山形、北海道、沖縄、関西など)
- ・ 集約型でなく分散型のネットワーク組織
 - ▶ 全国一括で行われていた牧師研修なども 地域別に行うことになり、地域組織への権 限委譲と地域にあった研修に移りつつあ る。また、ネットワークによって教会開拓を 推進する方法を取る。
- ・ 宣教師・外国人指導者主導から日本人リーダー主 導へ
 - ▶ 牧師研修などの働きも宣教師や外部の指導者によって行われていたが、日本人のリーダーシップへの移管を行う。牧師研修や開拓ネットワークも日本人によって進められるように移行する。

1996年から、教会増殖ネットワークが山形県で始まり、 以降日本全国へネットワークが拡がり、20年間で21 カ所で約110教会が参加されました。

その後、2011年の東日本大震災が発生し、震災から地域における宣教ネットワークの建て上げに用いられてきました。2017年からは、熊本チャーチビルドプロジェクト、2018年からは北東北宣教ネットワーク、北海道、四国、関西など未伝地への宣教のビジョンを分かち合って来ました。

2016年の日本伝道会議においては、伝道会議として初めて「教会開拓、教会増殖」がプロジェクトとして

取り上げられ、教会増殖ビジョンフェスタの開催にも協力しつつ、日本の教会増殖に仕えさせて頂くようになりました。

アジアへの貢献として、1998年から、教会成長研修がモンゴルで行われるようになり、その後スリランカ、インド、中国、カンボジア、ネパール、ミャンマー、フィリピン、ラオス、インドネシア、ブータン、韓国、ベトナム、バングラディッシュなどに拡がっていきました。そのために、有賀喜一先生や髙澤健先生が講師として各国で用いられてきました。

2020ビジョンの締めくくりの年のはずであった今年、新型コロナウィルスにより、数々の計画の変更を強いられました。

牧師研修はすべて ZOOM を用いて集り、セッションの ビデオクリップを作製して新しい学習の在り方で持た れるようになりました。

また、11月に予定していた、アジアンアクセスジャパン大会での、ビジョンの総括とお祝いは来年に持ち越されることになりました。

しかし、この年に通らされていることは、2020ビジョンによって、自らの在り方を変革させられて来た私たちが、新しいこれからの10年に向けての旅が始められたと感じています。

2019年2月に、教会増殖戦略会議が持たれ、202 3年には日本の人口の2%、2024年には10%が主 に立ち返ることを、日本に対する主からのビジョンとし て受け止める時となりました。そのための具体的な方 策として、日本の津々浦々に、50,000の教会を生 み出して行くことを、共に夢見るようになりました。

アジアンアクセス・ジャパンとしても、日本のキリストのからだの一部として、このビジョンを真剣に受け止め、 歩み始めました。

現実を見れば大きなギャップがありますが、コロナによって一瞬にして世界中を変えた主は、日本の宣教の主として、私たちの想像を超えた働きを、これからなされる主であることを確信しています。

1990年後半に考えた、宣教師主導から日本人主導への締めくくりとして、宗教法人の現地化が2021年に実行されます。ぜひ、この節目の年に、皆様のお祈りとご支援をお願いします。

働きの報告

①アジアンアクセス、・ジャパン教会指導者研修

2020年4月から、新しい研修プログラムとして、教会指導者研修がスタートしました。研修の特徴としては、12名の研修生が学習同同体を形成しつつ、世界の巨大な未伝種族である日本人の2%が主に立ち返るために、自分が刷新され、教会が刷新され、必要なことは何かを共に考えていくことです。新型コロナにより、宿泊セッションは持てずにおりますが、ZOOMを用いて毎月集り、ビデオリソースを用いて、個人のタイムラインの作成と研修のゴール設定を行いました。今後、コロナの状況を見ながら、オンラインとオフラインを用いながら、2022年3月まで研修を継続していく予定です。研修生は以下の通りです。

荒川聖志先生 浜松汀キリスト教会

大川啓真先生 高知ペンテコステ教会

緒方賢一先生 奈良福音教会

角本尚彦先生 青森バプテスト教会

佐伯淳平先生 BeOneOsakaキリスト教会

重元勝行先生 神戸キリスト栄光教会三田ホーリー

チャペル

菅原亮先生 高森キリスト教会

菅原道夫先生 小松南部キリスト教会

デューベルスティーブン先生 クライストコミュニティ

東神戸リバイバルチャペル

秦真道果先生 夙川聖書教会

益田結先生 グレースコミュニティ

諸藤栄一先生 有明バイブルチャーチ

バルナバ役として、大橋謙一師、豊田信行師、丸本浩師、森英樹師、下澤賢司師、儀間盛人師、黄金井尚美師、酒匂一己師、滝田新二師、松本雅弘師、ソネンバーグジェフリー師、播義也師がご奉仕下さっています。

44のケア	サブリメント をのむ	FSQ 90kg	インステップ	68-99-98-fts	1100 CC	角度を つける	ルから ボールを たたく	リストの	
重軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリース ポイント の実定	コントロール	75 500 th 60 < 1F	カまない	*~	THE ST	Taken Takatines
スタミナ	YU MO NE	(K745 (K745 (K)345	下肢の 強化	64.6: Bill 61.61.11	メンタル コントロール をする	ポールを	回転数	VOTABLISE.	
はっきり とした日標、 目的をもつ	-m-m	頭は分替に 心は無く	#±≠<0	コントロール	キレ	物でまわる	下肢の強化	14-388.种致力()	
ビンチに強い	メンタル	表別ない	メンタル	F 9-1 63808	スピード 160km/h	14.0150(0)	スピード 160km/h	20 MERS	
36.6 36.6 36.6	勝利への 執意	おいやる心	人間性	æ	樂化味	VI MANG	ライナー キャッチ ボール	ピッテング を用やす	
4619	受される 人間	21,0012	あいさつ	as mon	部屋そうじ	カウント	フォータ 光成	スライダー	
思いやり	A 8815	AS DM	道具を 大切に使っ	an.	審判さん への態度	遅く落光 のある カーブ	変化項	左打者へ の決め球	
41.6M	信頼される人間	銀額力	プラス思考	応援される 人間になる	本を読む	ストレートと 同じフォーム で投げる	ストライク からボールに 投げる コントロール	無行さな イメージ	
注)FSC	2. RSQid	筋トレ用。	のマシン	(出所)ス	ボーツニ・	777 × 600	-2.0	11011 (120111)	
2/1/14		11 114	ELLA	400 200 800	INTERNATION				

②U30牧師研修

第二期のU30牧師研修が今年度行われていますこちらも新型コロナウイルスの影響は避けられず、オンライン(Zoom 使用)で3日間にわたって学びと交わりの時間を持ちました。Beingテーマ「タイムライン」の講師として高澤健先生、Doingテーマ「伝道のフロー」の講師として飯田克也先生が奉仕してくださいました。いずれもオンラインのハンディはまったく感じない深い学びになりました。

また、10月6-8日の第二回宿泊セッションも同じ くオンラインで開催されました。Being テーマ「教会 形成の喜び」の講師として佐藤彰先生、Doing テーマ「リーダーシップと育成」の講師として天野弘昌先 生が立ってくださいました。お二人も少人数の利点 を生かして、研修生とよくコミュニケーションをとって くださり、普段以上に深い交わりのできる研修になり ました。

参加者は以下の通りです(50 音順、敬称略)。 大喜多義也(恵泉キリスト教会仙南チャペル)、 大角詩音(峰町キリスト教会)、

小崎恵(関西カルバリーフェローシップ)、

北山奨(神戸キリスト栄光教会)、

倉持守(久遠教会)、

勾坂太一(ニューホープ横浜)、

鈴木悠人(グレースコミュニティ)、

須藤愛香、須藤望(東京メトロチャーチ)、

廣瀬開(町田純福音教会)、

饒平名基喜(与儀ファミリー教会)、

Iris Wong(プレイズコミュニティチャーチ)。

バルナバ役として、阿見高洋師、大塚信頼師、儀間盛人師、黄金井尚美師、金野正義師、澤村信蔵師、玉井幸男師、寺田雄師、野田勝利師、野田菜穂子師、Dorrie Takazawa 師、鈴木光師がご奉仕下さっています。澤村信蔵先生にはバルナバチームの世話人としても奉仕いただいています。今回は特に研修生同士の交わりがオンラインのみで制限される分、バルナバの先生がたの励ましが大きな支えとなっております。感謝いたします。



(U30牧師研修の様子)







③新型コロナ対策ウェビナー

3月に新型コロナウィルスの感染拡大を受け、4月に計画と準備をして、5月から ZOOM ウェビナーを開催することになりました。それから、毎月開催し続けつつ、刻々と状況が変わる中、先が見えない中、現場のリーダーがオンラインで集まり、以下のようなテーマで、一緒に考える機会が与えられて来たことは、大きな恵みでした。

5月「教会はこのような時どう生きるべきなのか?」 パネリスト;小平牧生師、髙澤健師

6月;コロナ危機における教会のリーダーシップパネリスト;永井信義師、松田牧人師

7月;アフターコロナを見据えた、ウィズコロナの歩み方

パネリスト:横田法路師、中村陽志師

8月;コロナ禍で学ばされている、宣教の在り方

パネリスト;近藤愛哉師、髙澤健師

9月;コロナ禍で主の弟子を生みだし、育て、派遣する

パネリスト: 千田次郎師、鈴木光師

10月;フィニッシングザタスクカンファレンスに合流 11月;コロナを通して、教会はどう変えられつつあ るのか?

パネリスト:中西雅裕師、永井信義師

5月の時点では、キリスト教界ではオンラインウェビナーはあまりなかったのかも知れませんが、このようなあり方を示すことも、諸教会やキリスト教界に貢献できたことではないかと思っています。

今回、ウェビナーの中で使用した資料の一部を共 有させて頂きます。お働きの一助になれば幸いで す。なお、こちらの資料の著作権はアジアンアクセ ス・ジャパンに帰属しますので、他への転送、転載 はお控えください。

以下のQRコードからダウンロード↓ (ダウンロード期限:2021年1月22日まで)



(新型コロナ対策ウェビナーの様子)



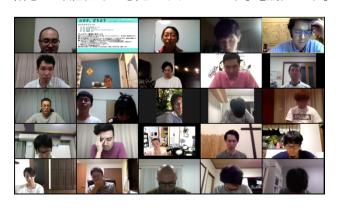
過去のウェビナーの 様子はこちら (YouTube 再生リスト)→



④U40教会リーダー向けウェビナー

新型コロナウィルスの影響下ならではの新しい試みとして、7月27日に「U40教会リーダー向けウェビナー」を開催しました。若い世代ならではの課題やアイデアを分かち合い励ましあう機会として、当事者のU40からパネリストとファシリテーターを立てて行いました。「オンライン礼拝どうよ?」というテーマで寺田雄先生、「牧会どうよ?」のテーマで辻和希先生(蔵王キリスト教会)、「ユースどうよ?」のテーマでベネディクト・カレブ先生(奈良ライフソングチャーチ)がそれぞれ話し、また田所慈郎先生の進行で互いにコメントを交わしました。また、後半は参加者(約60名)が各立場や奉仕別のグループに分かれて交わりを持ちました(Zoomブレイクアウトルーム機能を利用)。

U30 牧師研修の第一期生の皆さんがパネリストや グループリーダーとして多く奉仕に加わって、まさ に若い世代の若い世代による新しい研修となりまし た。参加者からも、ロ々に大きな励ましになったと 聞きましたし、グループの交わりから今後の新しい 働きの可能性なども見せられています。感謝します。



⑤フィニッシング・ザ・タスク カンファレンス 2020

2014年から、毎年開催されて来た、教会増殖ビジョンフェスタの実行委員として、アジアンアクセスジャパンは仕えさせて頂いたおりますが、今年は2020年10月13—15日に、フィニッシングザタスクカンファレンスの開催に協力させて頂きました。

Finishing the Task(以下 FTT)は、マタイ24:14 の御言葉のもと、すべての民族に福音宣教を達成するという目的のため、1600の団体、教会などの宣教機関のネットワークです。毎年、カンファレンスが行われ、今年は韓国で行われる予定でしたが、新型コロナの影響ですべてオンラインで行われることとなり、世界各地でホストとなる人たちの手によって運営されました。すべて日本語で運営され、英語のビデオには日本語字幕がつき、さらに日本人による発題を受けて、世界宣教の達成と日本の未伝地域宣教に向けて目を向ける機会となりました。そのカンファレンスでチャンレジを受けた参加者が、まだ福音が届けられていない地域に目を向け、宣教へ出て行く計画が進み始められました。

また、ウェブ上に日本の教会未設置市町村を掲載し、誰がどこをやろうとしているのか、この未伝地には、コンタクトパーソンがいるなどの、情報共有をするサイトを立ち上げるプロジェクトが始まりました。

このような取り組みが用いられて、日本のすべての 町々、村々に福音が宣べ伝えられ、現地から収穫 の働き人が見いだされ、教会が日本の津々浦々に 満ち溢れて行くことを願います。

(FTT カンファレンス2020の様子)





F T T ダイジェスト動画 (YouTube)

 \rightarrow



⑥鈴木光ディレクターブログ

2018 年~2019 年にわたって A2 インターナショナルで行われた PALD (Pan Asia Leadership Development)という研修の経験を、いのちのことば社さんの公式ブログ「Word of Life」(https://www.wordoflife.jp/)で旅行記として連載しています。『旅する教会 アジアの教会をたずねて』という連載記事です。日本、バングラデシュ、南インド、ミャンマー、カンボジアの五か国を、それぞれの国の研修生が順にホストとして研修内容を準備して順に旅するという、学習共同体を築く新しいスタイルの研修でした。私自身、研修を通して日本のこれからの宣教に大きな希望の光を見せられる経験でもありましたので、よろしければ皆様にもご覧いただければ幸いです。

ブログ Q R コード



⑦アジアンアクセス・ジャパン HP リニューアル& YouTube チャンネル開設

この度、アジアンアクセス・ジャパンのオフィシャルホームページをリニューアルしました。(http://asia naccess.or.jp/)

新しいオフィシャルホームページでは、アジアンアクセス・ジャパンが主催・共催するセミナーの情報のほか、教会増殖に関する情報を掲載しています。この機会に是非ご覧ください。

ホームページ QR コード

 \rightarrow



また、ホームページに合わせて YouTube チャンネルも開設しました。過去のウェビナーの様子や、最新のセミナーの紹介動画等が配信されますので、是非チャンネル登録をよろしくお願いします。

チャンネル登録はこちら→









「牧会どうよ」

「オンライン礼拝どうよ」

法人現地化

現在、宗教法人「アジアンアクセス」は、埼玉県所 沢市に主たる事務所が登記されていて、実際には アジアンアクセスインターナショナルの管轄下で運 営されております。

アジアンアクセス・ジャパンの働きは、アジアンアクセスインターナショナルとの協力関係の元、今までは、教会成長研修や、教会増殖ネットワークなどのミニストリーを行う部門として歩んで参りました。

2017年から、播師がナショナルディレクターとして 奉仕するようになってからは、アジアンアクセス・ジャパンとして専任で仕えるスタッフはいなくなり、現在まで事務作業に関しては、アジアンアクセスインターナショナルのスタッフに、一部業務を担って頂き、またメディアスタッフとして、斎藤瑠惟兄が奉仕してくださるようになり、ここまで支えられてきました。

2014年にアジアンアクセスインターナショナルの理事と、アジアンアクセス・ジャパンの合同理事会を、宮城県松島で開催し、その際に日本における宗教法人を、アジアンアクセス・ジャパンの理事によって運営責任を持つことが合意され、準備を進めて参りました。そして、2020年12月をもってアジアンアクセスインターナショナルの運営が終了し、2021年1月からアジアンアクセス・ジャパンが運営の主体となります。

また、国内にいるアジアンアクセスの宣教師のサポートも、アジアンアクセス・ジャパンが業務委託という形で担っていくことになります。

このことと、新型コロナによる米国の経済危機により、 アジアンアクセスインターナショナルからの経済的 支援は50%の削減となり、経済面においても、現 地で責任を持っていくことになります。

当面は、所沢にあります小手指事務所は残りますが、常駐スタッフはいなくなりますので、お問い合わせはすべてメールにてお願いします。

今後、アジアンアクセス・ジャパンの働きは、ナショナルディレクターとして、引き続き播師が奉仕をし、ディレクターとして鈴木光師、メディアスタッフとして斎藤瑠惟兄、事務などの会計業務は、斎藤瑠惟兄が運営するスタジオ ao に業務委託することになります。

新型コロナによる米国の経済危機により、アジアンアクセスインターナショナルからの経済的支援は50%の削減となり、経済面においても、現地で責任を持っていくことになります。覚えてお祈りください。

評議員について

アジアンアクセス・ジャパン運営規定では、理事会によって委嘱された 40 名以上の方々による評議員会を置き、毎年一回の定期評議員会を開催することを定めています。以前は全国大会に合わせて評議員会を開催してきましたが、近年は全国から集まっていただいての評議員会の開催は難しくなっていました。しかし、今年はコロナウィルス禍にあってZoom の利用が広まったことによって評議員会が開催しやすくなりました。

先の項目にも記されていますように、アジアンアクセス・ジャパンの「法人現地化」は私たちの新しい出発ともなります。私たちはアジアンアクセスのビジョンを確認し、またそのための協力態勢を整えて前進していきたいと願っています。またそれに伴い、あるいは評議員会も装いを新しくしていくことが求められているかもしれません。

そこで、下記のようにZoomを用いて評議員会を開催させていただきたいと願っています。お忙しい中ではありますが評議員の皆様のご参加をお願いいたします。

記

アジアンアクセス・ジャパン評議員会

日時:2021年1月25日(月)午後1時~3時 内容:

- ・アジアンアクセス・ジャパン法人現地化の報告
- ・今後の評議員会について
- その他

*評議員の方へは後日、メールにて Zoom リンクを お送りしますので、そちらからご参加をよろしくお願 い致します。



2014年合同理事会の様子

会計報告

いつもアジアンアクセス・ジャパンの働きを覚えて、お捧げくださり感謝致します。

2020年も間もなく終わろうとしていますが、コロナ禍で経済の試みに遭われている教会も多いかと思います。 アジアンアクセス・ジャパンの財政状況も、米国からの支援が15%カットとなり、厳しい状況でしたが、コロナ により外出制限から活動費が低く抑えられたため守られました。

団体としても、必要経費を抑制すべく努力を重ねております。しかし、前述のように来年度から、前年度予算の50%削減となりますので、国内からの献金をお願いしなければならない状況です。

ぜひ、クリスマスシーズン、年末シーズンに献金をお捧げくだされば幸いです。

(収入)12,996千円

- 一般献金 3,596,308円(97,2%)個人、教会からの献金
- 特定献金 4,547,500円(178%) U30、教会指導者研修参加費、
- 資料提供 42,796円(61%) テキスト購入代
- ◆ A2i 支援6, 480, 000円(74, 2%)米国アジアンアクセスより

(支出)8,608千円

- 活動費 3,596,308円(31,2%)個人、教会からの献金
- 事務所固定費 3, 470, 683円(87%)
- 業務委託費、感謝献金 3,600,000円(101%)

※会計上は、約430万円の黒字と見えますが、コロナにより延期されている U30 牧師研とアジアンアクセス教会指導者研修の宿泊セッションで今後使われる予定です。

理事会、スタッフ編成 2020 年度12月~

理事会

理事長;小平牧生

理事; 黄金井尚美、ウィルソンメリージョー、大友幸 ナショナルディレクター; 播義也 一、千田次郎、池田博、松本雅弘、益田良一、滝 ディレクター; 鈴木光 田新二、酒匂一己 メディアスタッフ; 斎藤瑠惟

スタッフ アジアンアクセスジャパン大使;有賀喜一 ナショナルディレクター;播義也 ディレクター;鈴木光 メディアスタッフ;斎藤瑠惟

専務理事/アジアンアクセスジャパン大使;有賀喜一

Asian Access Japan REPORT

アジアンアクセス・ジャパン レポート 2020.12月号

発行:アジアンアクセス・ジャパン

事務所 〒359-1104 埼玉県所沢市榎町 6-16

E メール: info@asianaccess.or.jp WEB: http://asianaccess.or.jp ゆうちょ銀行振替 00100-8-160549

アジアンアクセス・ジャパン

今後のお問い合わせはメールにてお願い致します。